

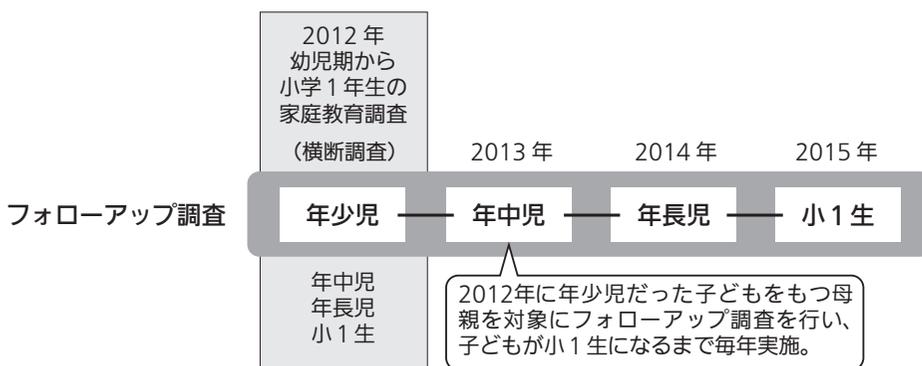
本調査の特徴

本調査は、年少児から小学1年生までの家庭教育の様子、保護者の家庭学習についての意識と実態をとらえることを目的に実施している。本調査は、経年での比較ができるように設計し、かつ年少児については縦断調査を行う予定である。

本調査の特徴は、以下のようにまとめられる。

本調査の特徴

1. 年少児から小学1年生の子どもの様子と母親のかかわりや意識を把握することができる
本調査は、年少児から小学1年生までの子どもをもつ母親を対象に調査を行った。子どもの生活時間、学びの様子、習い事、母親のかかわりや読み聞かせ、教育観などを聞いており、現在の子どもの様子と母親のかかわりや意識がわかる。
2. 年少児から小学1年生の学年による違いを把握することができる
年少児から小学1年生までの4学年を通して、同じ項目を設定して調査を行った。この時期の家庭教育が、子どもの成長・発達にともなってどのように変化するかを把握することができる。さらに、小学1年生の母親には幼児期を振り返っての意識も聞いているので、幼児期と、小学1年生の時期のつながりを把握することができる。
3. 年少児を対象にフォローアップ調査を行い、今後3年間の変化を追う設計にしている
子どもが年少児から小学1年生になるまでの3年間にわたって、今後毎年フォローアップ調査を行い、幼児期から児童期を通した家庭での親子のかかわりの実態とそのプロセス、因果関係を明らかにする設計にしている。



調査概要

1 調査テーマ

幼児期から小学1年生までの子どもの学びの様子と、親のかかわりや意識

2 調査方法

郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）

3 調査時期

2012年1～2月

4 調査対象

年少児～小学1年生のお子様をもつ母親5,016名（配布数14,000通、有効回答率35.8%）

※今回の調査でご回答いただいた保護者のうち、母親は96.0%を占めた。本報告書では、母親のみを分析対象とした。

5 調査地域

全国

6 サンプル数

	年少児	年中児	年長児	小学1年生	不明
男	695	594	543	636	5
女	669	627	580	649	11
不明	2	2	2	0	1
合計	1,366	1,223	1,125	1,285	17

※本報告書では、“年少児”は3歳児クラス、“年中児”は4歳児クラス、“年長児”は5歳児クラスに通う年齢の子どものことを表している。

7 調査項目

子どもの生活時間／子どもの学びの様子／母親のかかわり／母親の教育観／幼児期の振り返り／父親の役割分担／園・小学校の満足度／習い事／読み聞かせなど

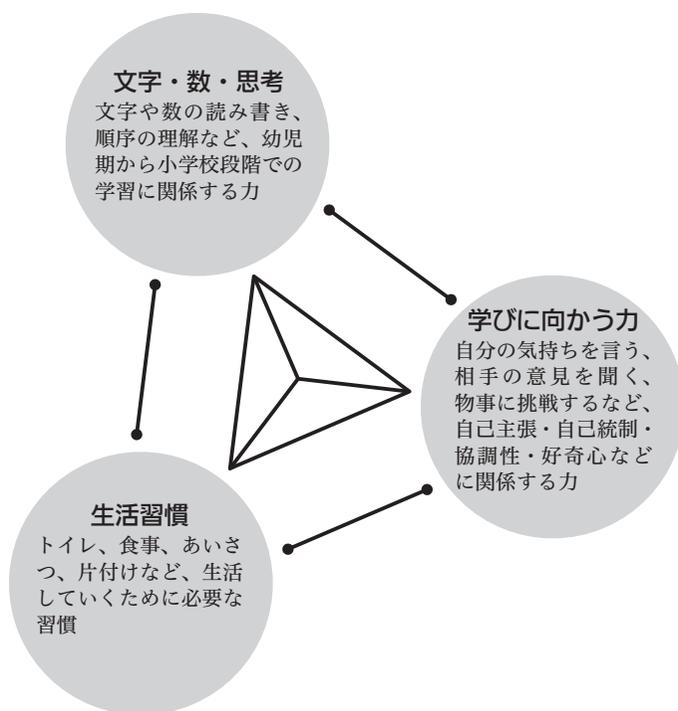
調査の背景

近年、国際的に乳幼児教育への関心が高まっている。国内でも、園や学校現場を中心に「幼小接続（※）」の取り組みが全国的に広がっている。これらの動きの中で、小学校以降の学習の基盤として、家庭と園による幼児教育での生活習慣の自立や、物事に集中し挑戦し、人とやりとりできることを中心とした「学びに向かう力」が重要視されている。

（※）「幼小接続」とは、幼稚園と小学校の接続のみではなく、幼稚園、保育所、認定こども園が行う幼児期の教育と小学校教育の接続を表している。

幼児期に必要な学習準備について

本調査では、幼児期から小学校の学習生活に移行し適応するために必要とされる力、幼児期に育てたい生涯にわたって必要な力・学習準備として3つの軸を置いている。



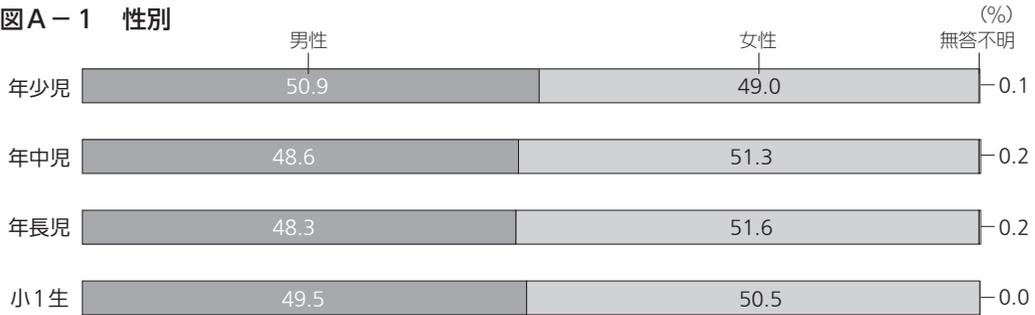
本報告書を読む際の注意点

- ・本報告書では、母親のみを分析対象とした。
- ・本報告書では、“年少児”は3歳児クラス、“年中児”は4歳児クラス、“年長児”は5歳児クラスに通う年齢の子どもを指し、また、小学1年生については、“小1生”と略記した。
- ・本報告書で使用している百分比（%）は、有効回答数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数点第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合がある。

基本属性

A. 子どもの属性

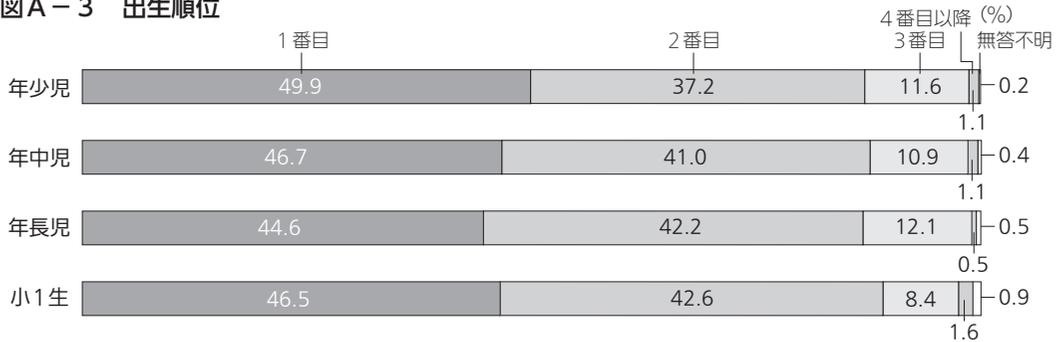
図A-1 性別



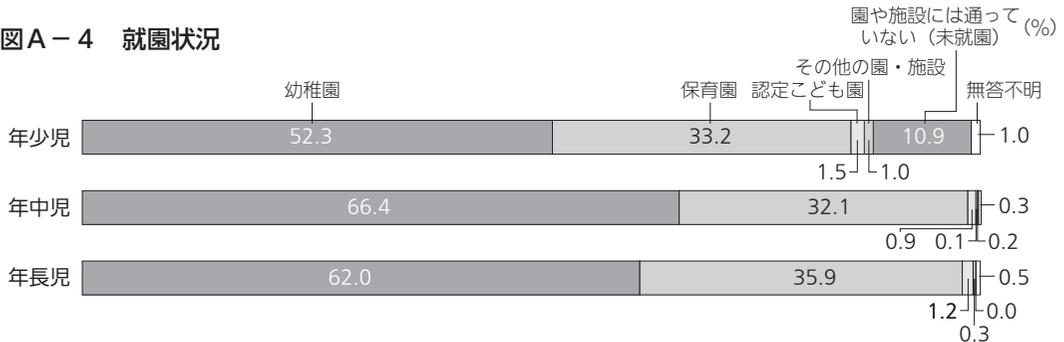
図A-2 きょうだい数



図A-3 出生順位



図A-4 就園状況



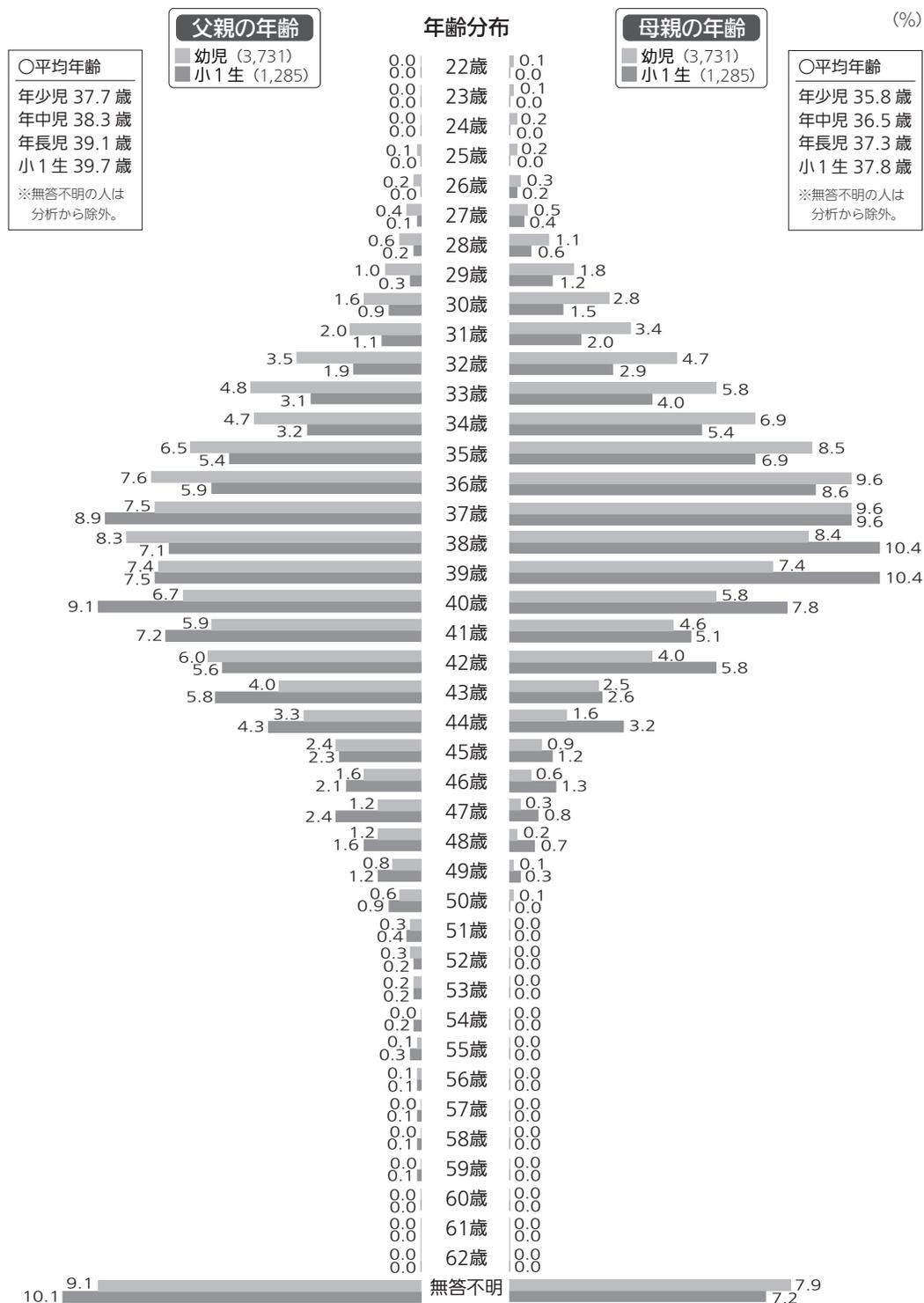
図A-5 学童保育の状況(小1生)



基本属性

B. 保護者の属性

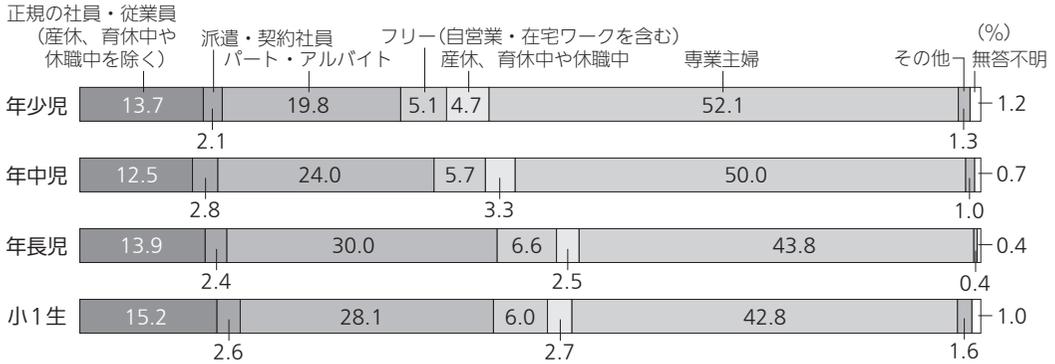
図B-1 父親・母親の年齢



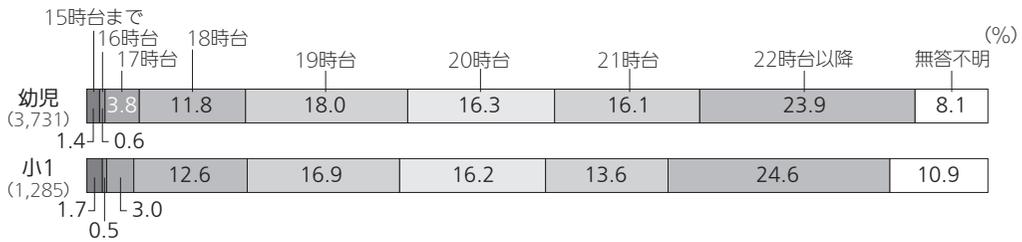
注) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。

基本属性

図B-2 母親の就業状況



図B-3 父親の帰宅時間



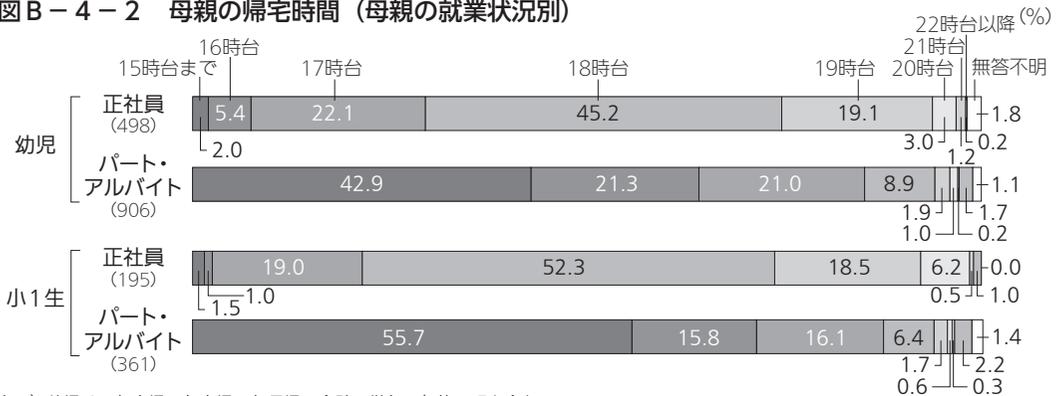
注1) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。
 注2) 父親が仕事をしている人のみ回答。
 注3) () 内はサンプル数。

図B-4-1 母親の帰宅時間



注1) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。
 注2) 仕事をもつ母親のみ回答。
 注3) () 内はサンプル数。

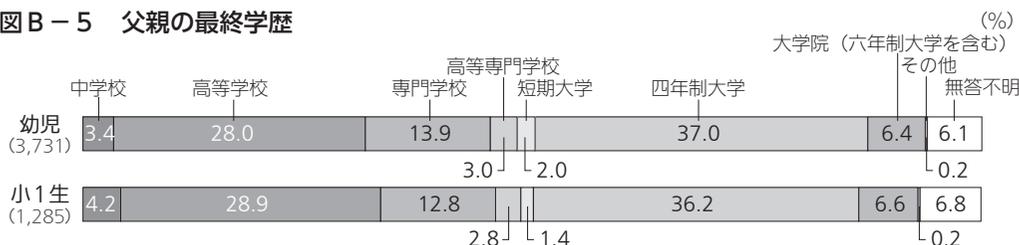
図B-4-2 母親の帰宅時間(母親の就業状況別)



注1) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。
 注2) 仕事をもつ母親のみ回答。
 注3) () 内はサンプル数。

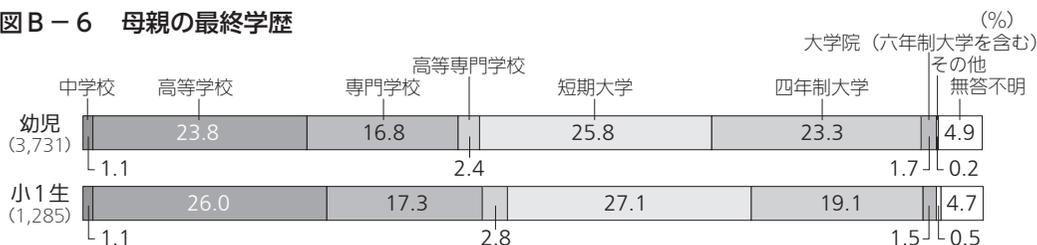
基本属性

図B-5 父親の最終学歴



注1) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。
注2) () 内はサンプル数。

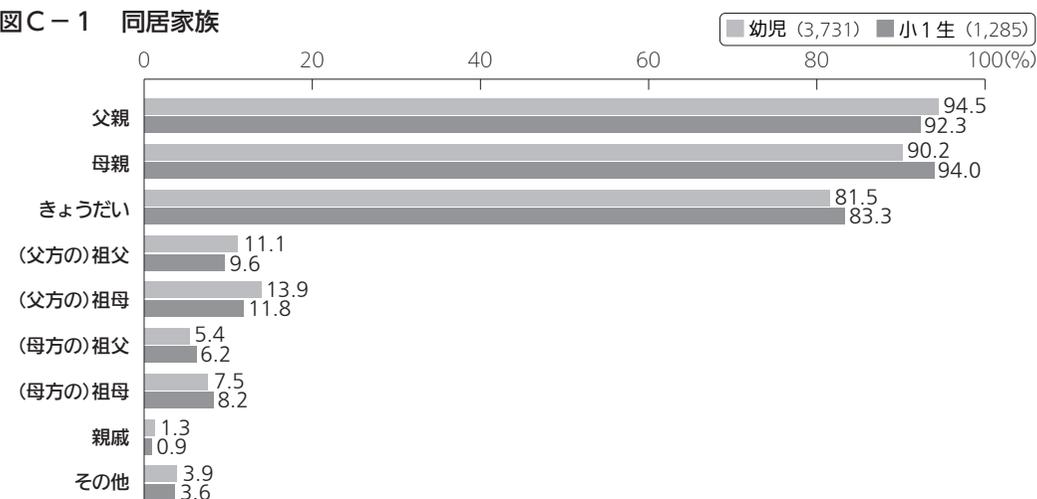
図B-6 母親の最終学歴



注1) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。
注2) () 内はサンプル数。

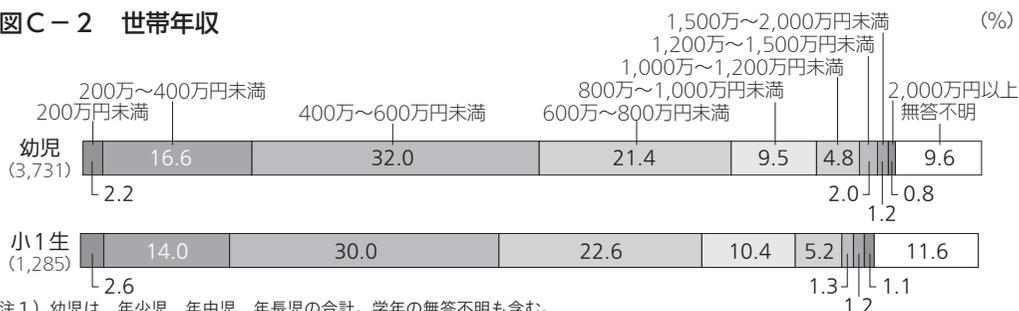
C. その他

図C-1 同居家族



注1) 複数回答。
注2) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。
注3) () 内はサンプル数。

図C-2 世帯年収



注1) 幼児は、年少児、年中児、年長児の合計。学年の無答不明も含む。
注2) () 内はサンプル数。